Annals, Public Policy Studies

ISSN 1881−9818

年報 公共政策学

第 19 号　2025

【巻 頭 言】　宇野　二朗　1

【特集　HOPSの教室から】

特集に寄せて　村上　裕一　3

授業紹介　阿部 大祐・大井 創世・川部 紀子・佐々田千鶴絵・西牧 孝徳
藤本 研一・古田　光・HONG Sujin・前田 由美子・宮本 遥香　5

【論　　文】

子ども・子育て支援の社会化のための財源の調達の方式に関する考察―介護保険制度と比較した子ども・子育て支援金制度に対する法的評価―　田中　謙一　67

人口減少時代の市町村の現状と課題―自治体調査を手がかりに―
山崎　幹根・宇野　二朗　87

近代社会における個人の位置と意味 (2) ―個人の誕生とその社会における位置―
佐々木隆生　105

「税と開発」の新たなフォーラムの始動？　途上国による国際租税協力枠組条約創設の試み
津田久美子　125

豪雪時の地域内排雪による予算縮減の可能性と地域市民の受容意識
中前　茂之・堀江　進・高野　伸栄・萩原　亨　153

社会保障の法概念論・序説―社会保障法学は法哲学から何を学べるか―　西村　淳　175

【研究ノート】

Who Will Save Their Souls?: Transnational Cooperation for Peace and Reconciliation in Hokkaido　CHI Naomi　191

介護予防・日常生活支援総合事業の政策的意義―介護保険に包摂される地域支援事業としての位置付けに着目して―　田中　謙一　199

北海道179市町村における地域成長要因の分析―シフト・シェア分析を用いた一考察―
伊藤　慎時　221

【リサーチペーパー】

どの議員が女性を代表するのか？　アルゼンチン上下両院の法案データを用いた実証研究
永洞航太郎　247

【レポート】

2024年度「HOPS地方議員・公務員向けサマースクール」の開催について／米国大使館助成プログラム「日米外交アカデミー」　269

【活動報告】　279

北海道大学公共政策大学院

【特集　HOPS の教室から】

特集に寄せて

村上　裕一*

本誌では、北海道大学公共政策大学院（HOPS）における教育・研究と実践の成果を広く社会に発信することとしている（投稿規程第 1 条)。本号では、これまでリサーチペーパー以外に掲載されることのなかった HOPS の教育の成果発信として、学生による授業紹介の特集を初めて企画した。

2005年の HOPS 開設以来、600名を超える優れた修了生が、地方自治体や中央政府（約33%)、サービス・広域事業（約12%)、情報通信業（約10%）などに進路をとり各地で活躍している。HOPS にとっては、これまで本誌で取り上げてきた研究活動のみならず教育活動、すなわち専門人材の育成・輩出も極めて重要なミッションであり、現に教員同士で試行錯誤を積み重ねながらその社会的責任を果たしてきた。しかしながら、このことは少なくとも本誌において必ずしも十分には取り上げられてこなかった。

本特集への投稿に手を挙げた学生有志には、①対外的にも授業の様子・雰囲気が伝わる工夫をすること、②授業で何を学んだかを整理すること、③授業を受けてさらに考えたことと、以後の学修や仕事への活かし方を書くことを求めた。結果、10名による 6 科目の紹介記事を採録することができた。

HOPS には公共経営、国際政策、技術政策の 3 コースがあり、社会人学生や外国人留学生もそれぞれ若干名受け入れている。英語での授業や各分野の第一人者の非常勤講師による授業も特徴的であり、本特集にはそれを相当程度、反映できたと考えている。他方で、必ずしも全ての学生が積極的に投稿に手を挙げたわけではなく、また、限られた紙幅で上記の 3 点を要領よくまとめるのにはかなりの加筆修整が必要だった。この部分への対処は、今後の教育活動の課題である。

本号の編集委員長として、また本特集の企画者として、HOPS の教育活動が授業担当の先生方と多様な学生諸君が築く関係性の中で極めて有意義かつ効果的に展開されていることを確認できたのは、大きな収穫であった。日頃これに協力してくださっている関係諸氏に心から御礼申し上げると共に、HOPS とそこで学ぶ学生諸君の輝かしい未来を願うばかりである。

＊　北海道大学大学院公共政策学連携研究部・法学部教授、『年報 公共政策学（第19号)』編集委員長　E mail: yuichim@juris.hokudai.ac.jp

Preface for a Special Feature: Classroom Experiences of HOPS Students

MURAKAMI Yuichi

Abstract

Annals, Public Policy Studies serves as a platform for broadcasting the educational, research, and practical achievements of the Hokkaido University Public Policy School (HOPS). For this edition, as editor-in-chief, I have introduced a special feature highlighting the classroom experiences of HOPS students. While research activities have been the major focus of HOPS, it also emphasises education and the cultivation of skilled professionals by continuously refining its methods to fulfil its social responsibilities. The articles in this issue cover a wide range of topics, including interdisciplinary policy case studies, social security, labour and welfare policies, non-profit organisation management, practical English seminars, and labour law. HOPS provides an irreplaceable learning environment for recent graduates, working professionals, and international students. Its curriculum is enriched by courses taught in English and distinguished part-time instructors from their respective fields. This special feature also reflects the diverse aspects of programs offered by HOPS in public management, international policy, and technological policy. It is a great honour to witness how collaborative relationships between faculty and students enable meaningful and effective educational practices. I extend my heartfelt gratitude to all who contributed and wish the best for the future of HOPS and its students.

Keywords

Hokkaido University Public Policy School (HOPS), classroom experiences,
interdisciplinary policy, public management, international policy, and technological policy